

一般質問

ごみ分別の手引きと分別辞典の作成は



原口博光議員

本町においても、平成十三年四月から二十一年品の資源ごみ分別収集が始まり、県下でも南部三ヶ町は分別収集の先進地となっている。今の状況をさらに一歩進める意味で、ごみの分別に苦労されている町民の方々に對し、「ごみ分別の手引き(分別辞典)を作成し、全戸に配布できないか。

南部三ヶ町で 検討

町長

実施当初は、町民の中



富良野市のごみ分別の手引き

には多少の戸惑いがあり、平成十二年六月からのごみ分別収集に合わせて「ごみ分別のしおり」やチラシを作成し、全戸配布や集落単位の説明会を実施した。平成十三年度には三ヶ町で統一した分別チラシを全戸に配布している。このしおりを作成す

る時点で近隣市町でもごみの分別辞典が作成されていたので検討したところでもある。今後、分別辞典の作成の必要性については隣の有明町も検討すると言っているのので、三ヶ町で再度検討したいと思っている。

有害紫外線 対策は

原口議員

有害紫外線が人体にどれだけ有害であるのか認識が浅いようであるので、認識してもらおうためのPR活動を考える必要はないか。

また、この有害紫外線から子供を守るための措置はどのようになっているか。

広報誌等で啓発

町長

近年、フロンガスなどによりオゾン層が破壊され、有害な紫外線が、地上に届くようになり、人や家畜に様々な悪影響を及ぼしていることが報告されている。強い紫外線を受けると、皮膚炎や皮膚ガン、視覚障害をおこしたり、免疫力の低下などにより抵抗力が弱まり、感染症にかかりやすくなるなどの悪影響があると

いわれている。

これから日差しの強くなる時期を迎え、紫外線に対する対策をおこなっていくことが、最も大事なことであると思われるので、町広報誌をはじめ健康教室等のあらゆる機会に、紫外線に対する認識を深めて行きたい。

子供たちを有害紫外線から守る措置として、本年度から町内の保育所、幼稚園の連絡会を開催することになっているので、有害紫外線についての、正しい認識と情報を共有することが重要と考え、今後は連絡会や研修会の中で、研修を組み入れていきたい。

十五年後、二十年 後に後悔しないた めに

教育長

最近の新聞の見出しでも、「日焼けに用心」、「しみ、しわ、ガンの原因に」、「皮膚ガン増加傾向」、「オ

ゾン層破壊」と言った記事を見聞きしても、危険性について認識が足りないのは確かであるので、学校でも対策を講じたい。

紫外線の強さのピークは五月から八月の午前十時から午後二時となっております、学校でできる措置としては、

- (イ) 水泳指導の時間割の組み方を工夫する。
- (ロ) 学校でプールサイドにテントを設営
- (ハ) 帽子の着用を徹底し、長袖の上着も検討する。
- (ニ) 体育大会、運動会、水泳記録会等では全員テントからの応援や見学ができるようにする。

- (ホ) 日焼け止めクリームの使用を学校保健委員会、学校医、薬剤師と相談しながら教育委員会で検討する。

など、紫外線対策を意識しながら対処できるようにしたい。